

災害ボランティア活動報告(No.42)

活動場所:宮城県亶理郡山元町作田山(被災農家:斎藤様の農地)

今回は、総勢33名です、当初36名だったのですがメンバー2名の方が急遽お仕事で参加できなくなりました。それでも参加費を払って頂き恐縮です。

それなのに、ネットで申し込まれた大阪の若い女性の方がお一人当日連絡が取れなくなりキャンセルでした。残念ですね。まじめな方が参加費を払い、連絡取れない方が払わない、おかしい話です。

震災から4年以上経ち、ボランティアの方々が減少しており、ボラバスも例外ではありません。GWのボラバスは、30名に満たないと中止もあり得ます、と案内させて頂きました。出来れば継続したいのですが、大幅な赤字ですとやもえません。

【ボランティアの方々の合計数は、震災の翌月(4月)は一月で162,200人(3県合計、福島:宮城:岩手)でしたが平成27年1月は2,800人です。全国社会福祉協議会調べ。】

活動内容:今回は全員で、パブリカのビニールハウスで、収穫後の後片付けをしました。

参加者:メンバー(木下史典、芦澤潤一、榎戸孝行、溝手文子、本田 健)、一般参加、ネット参加のバス33名。



※集合写真:今回参加して下さった皆さんです。(遺構として残されている中浜小学校視察、学校の前にて。)

活動報告:『親子で震災ボランティア体験』in 宮城県山元町、ボランティアバス第19弾です。被災農家斎藤さんにご縁がありお伺いしてから、今回で15回目です。

ボランティア参加者の方が減少している状況ですので、出来るだけご要望をお聞きして、リピーターの方を増やしたり、参加される方の満足度を増やしたいと考えており。参加さ

れた学生さんにご意見をお聞きしました。

『震災当時の話を被災者の方から伺いたい。被災された農家の斎藤さんから震災後今までの状況をお聞きしたい。学生割引を入れてほしい。』と有りました。

映像で、どういう状況だったのかお見せするのが一番わかりやすいと思いDVDに動画をとったのですが、私がやるので上手くいきません。そこで、震災当時の写真と山元町がどういう状況だったかまとめて、ファイルを作りバス内で参加者の皆さんに見て頂きました。

山元町の被害状況

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、山元町では、震度6強を観測しました。

震災当時の人口

【人口速報集計結果】（平成23年2月25日総務省統計局 公表）

山元町：5,233世帯・16,711人（宮城県901,254世帯・2,347,975人）

現在の人口（平成27年2月）

総人口 12,786人 男性 6,299人 女性 6,487人

世帯数 4,557戸

人的被害数

死者 636人（遺体未発見の死亡届17人および震災関連死19人を含む）

※町内での遺体発見数 674人

行方不明者 0人（死亡届提出17人を除く）

重傷者 9人（救急搬送分）

軽症者 81人（救急搬送分）

家屋の被害

全壊 2,217棟（うち流出1,013棟）

大規模半壊 534棟

半壊 551棟

一部損壊 1,138棟

以上が山元町の被害状況です。人口も3割以上減りました。人的被害も甚大です。

それと、被災した中浜小学校視察のさい、地元の語り部である渡邊さんをお願いして視察の案内と当時の状況をお話頂きました。

渡邊さんは震災時中学校の校長先生で、いろいろ苦勞されたお話しや、バスの側面に当時の写真をマグネットで貼って説明して頂きました。

ご自宅の写真やご家族の写真、ご自宅は津波で流されたそうであり、震災前と後の写真を見せて頂きました。お子さん方の小さいときの写真は、かなり痛んでいました。全部写真ごと流されたのですが、ボランティアの方達が見つけて、写真を塩抜きして返してくれたそうです。写真は、塩分を含むと溶けてしまうそうであり、何枚か戻ってきたそうです。その写真を、説明に使って下さったのですが。それには、渡邊さん曰く、自分は家族が全

員無事であり、自分の写真なら誰にも迷惑がかからないから、だそうです。

やはり、お願いして良かったです。今回参加された方々は、震災当時の状況が良く理解されたと思います。今まで、私やメンバーの方達がお話ししていましたが、学校の責任者であり、被災者である渡邊さんのお話はインパクトがあり分かりやすかったです。



※地元の語り部渡邊さん。バスに震災前・後の写真を貼って当時の事を話して下さいました。



※左の写真が、片付ける前のパプリカのビニールハウス。右の写真が片付けた後。こんなに綺麗になりました。写真に赤いパプリカが写っていますが、出荷出来ない痛んだ物などが未だ付いています。勿体ないですね。傷や痛みがあると売れないそうです。パプリカパウダーをこれで作ればと女性の方がお話しすると、斎藤さんも考えていて、今度機械を導入するそうです。それでも、十分の二位しか商品にならないとのこと。

日本は飽食で、こんなに勿体ないことをしていると思いきらされます。

今回は、参加人数が何時もより少なく全部は片付けられず申し訳ありませんと話す。

斎藤さん曰く、私たち夫婦で片付けようと思ったら1週間以上かかってしまいます。助かります。と言ってもらえます。

また今回も、ネギとゆきなを皆さん分頂きました。有り難うございます。

GWもお伺いできるように頑張ります。今回参加された皆様、お時間あればGWも、ぜひご参加下さいお願いいたします。

以上